

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり7.59人の報告があり、前週と比べてやや減少しました。

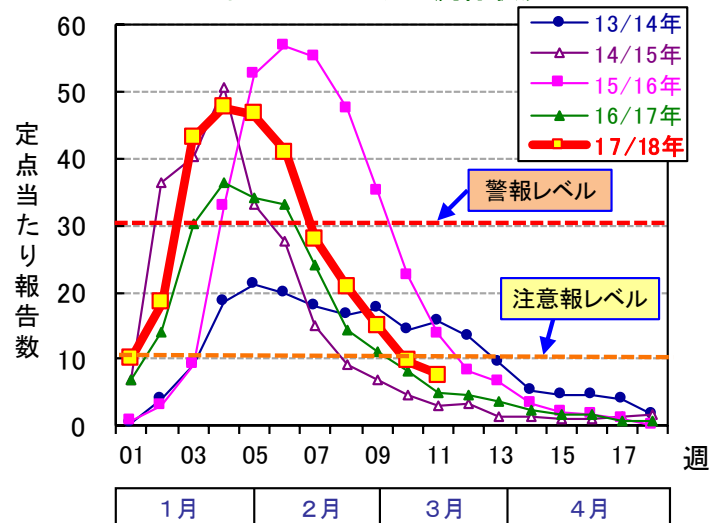
春休み中は混雑する場所へ行くなど、感染機会が増えると考えられます。健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策をより一層心がけましょう。

第11週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が31人、B型陽性が33人報告されています。

2. 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は小児科定点から定点当たり13.7人の報告があり、例年同時期と比べて多くなっています。ロタウイルスによる感染性胃腸炎は基幹定点から17人の報告がありました。(次頁参照)

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	281	7.59	10.57	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.41	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.26		小児科	RSウイルス感染症	17	0.71	0.18	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	2.50	2.15	◇	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	感染性胃腸炎	329	13.71	8.12	◇	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.60	
	水痘	5	0.21	0.51		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.22		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	-	-	0.24		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	突発性発しん	7	0.29	0.36		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	17	2.43		◇

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	32	女性(20歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
3	腸チフス	1	1	女性(80歳代)・市外
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	3	女性(80歳代)
5	梅毒	2	24	女性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・1人
5	百日咳	2	4	男性(30歳代)・1人、女性(80歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	第7週	1,030	3	58	182	3	2	-	3	-	-	11	-	3	-	-	-	-	3
	第8週	756	5	70	235	4	5	2	1	2	1	10	1	2	-	-	-	-	15
	第9週	557	4	84	253	4	2	1	8	1	1	12	-	7	-	-	-	-	11
	第10週	359	2	76	281	3	2	-	7	-	1	6	1	2	-	-	-	-	20
	第11週	281	3	60	329	5	2	-	7	1	2	17	1	1	-	-	-	-	17
定点当 たり	第7週	27.84	0.13	2.42	7.58	0.13	0.08	-	0.13	-	-	0.46	-	0.38	-	-	-	-	0.43
	第8週	21.00	0.21	2.92	9.79	0.17	0.21	0.08	0.04	0.08	0.04	0.42	0.13	0.25	-	-	-	-	2.14
	第9週	15.05	0.17	3.50	10.54	0.17	0.08	0.04	0.33	0.04	0.04	0.50	-	0.88	-	-	-	-	1.57
	第10週	9.70	0.08	3.17	11.71	0.13	0.08	-	0.29	-	0.04	0.25	0.13	0.25	-	-	-	-	2.86
	第11週	7.59	0.13	2.50	13.71	0.21	0.08	-	0.29	0.04	0.08	0.71	0.13	0.13	-	-	-	-	2.43
全国	第9週	17.42	0.28	2.60	4.84	0.21	0.12	0.07	0.33	0.01	0.12	0.38	0.01	0.59	0.02	0.01	0.11	0.01	0.31
	第10週	12.05	0.27	2.64	5.00	0.26	0.13	0.06	0.35	0.01	0.13	0.41	0.01	0.53	0.01	0.02	0.12	0.02	0.28

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

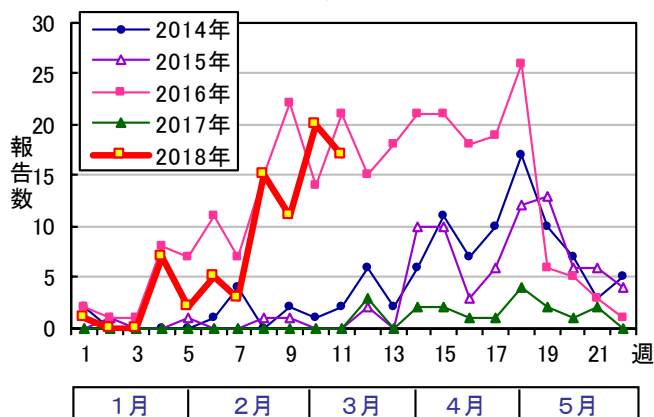
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	上気道炎 肺炎	8	男	2018/02/03	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.0) 意識障害	3	女	2018/02/04	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	嘔気 下痢	1	不詳	2018/02/12	糞便	ノロウイルスG2
流行性角結膜炎	角結膜炎	76	女	2018/02/07	結膜擦過物	アデノウイルス85型
流行性角結膜炎	角結膜炎 瞼結膜腫脹・充血	59	男	2018/02/09	結膜擦過物	アデノウイルス85型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7) 上気道炎 気管支炎	0	男	2018/02/05	鼻汁	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(40.0) 意識障害 熱性痙攣	0	女	2018/02/07	鼻汁	ヒトホカウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における感染性胃腸炎(ロタウイルス)の流行状況

基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



ロタウイルスは、乳幼児に急性胃腸炎を引き起こす主要な原因であり、例年、3月から5月にかけて報告数が増える傾向があります。

市内の基幹定点からの感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の報告数は増加しており、注意が必要です。患者の年齢は、1歳(23.5%)、2歳(19.8%)、3歳(13.6%)の順に多く、5歳未満が全体の70.4%を占めています。

手洗いやオムツの適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第11週(3月12日~3月18日)